

若者の就労を応援します ～本人と家族が前進するために～

市と下越地域若者サポートステーションでは、若者の就労による自立と定着を目的にした取り組みを行っています。就職のことでお悩みの皆さん、新たな一歩を踏み出してみませんか？

時 通年 場 瀬波地域コミュニティセンター

料 無料（講座により、材料費などの実費がかかる場合があります）

対 おおむね15～49歳までの就職を目指す人

主な活動内容（全て事前に予約が必要です）



朝活

「働く」力をつけるためにコミュニケーション力や自己理解などのスキルアップ講座などを行っています。

時 毎週月～金曜日の午前中
 内容 キャリアセミナー、自己発見講座、SST、メンタルヘルス、コミュニケーション、ボールペン字講座など

職場見学・体験

「何をしている会社？」「どんな雰囲気だろう？」などの疑問を実際に見学・体験をすることで、職業との相性を考え業界の理解を深める事ができます。

時 随時 ※おおむね2時間程度

家族こんだん会&ご家族の相談

家族の就職（若者の自立）のことでお悩みではありませんか？同じ悩みを抱えた親御さん同士の情報交換の場も設けてあります。現状から一歩進めるためのヒントを一緒に見つけましょう。

時 6月3日(金)、7月29日(金)、9月16日(金)
 午後6時45分～8時45分
 11月18日(金)、令和5年1月27日(金)
 午後2時30分～4時30分
 ※個別相談は随時受け付けます

キャリアコンサルタント相談

「働き方」への不安や悩みに対する助言、志望動機の作成など、就職活動のサポートを行います。

時 毎週月・木・金曜日 午前10時～午後4時
 ※臨床心理士相談も行っています。
 詳細についてはお問い合わせください

問 申 下越地域若者サポートステーション村上常設サテライト（瀬波地域コミュニティセンター2階 ☎50-1553）

ホームページも開設しています

下越サポステ

検索

「新潟県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行されました

自転車に関係する交通事故の防止および被害者の保護を図り、県民が安心して暮らすことのできる社会を実現するため、4月1日に条例が施行されました。

この条例により、10月1日から自転車利用者が自転車損害賠償責任保険などに加入することが義務となります。万が一の事故に備え、自転車損害賠償責任保険等に参加しましょう。

また、定期的に自転車の点検および整備に努めるほか、利用時には乗車用ヘルメットを着用し、交通ルールを遵守するなど、自転車を安全で適正に利用しましょう。

※条例は、県のホームページ（「新潟県の交通安全」のページ）で確認することができます

問 新潟県総務部県民生活課交通安全対策室（☎025-280-5136）



県民介護知識・技術習得講座の受講者を募集します

一般の人を対象に在宅介護の基礎的な知識や技術を分かりやすく学べる講座を開催します。

内容：寝返り、体位変換、衣類の着脱、排泄の介助、車いすの介助など

①介護体験・入門コース
 高校生も参加できる入門講座で5時間1日間コース

②介護技術・基本コース
 在宅介護の実習中心基礎講座で5時間3日間コース

③介護技術・ステップアップコース
 在宅介護の技術向上のための実技のみ講座で5時間2日間コース

※実技は濃厚接触しない方法で行います

料 無料

場 新潟ユニゾンプラザほか県内各地

問 新潟県社会福祉協議会 介護実習・普及センター（☎025-281-5525）

ダム発電関係の交付金、助成金を有効活用しました

記事ID 0067122

市では、令和3年度に国からの交付金や県からの助成金を活用して4つの事業を実施しました。

電源立地地域対策交付金

事業名	交付金額（円）
保育園運営事業	18,473,000

県営発電所所在市町村地域振興助成金

事業名	交付金額（円）
鮭増殖の稚魚導入事業	744,000
奥三面ダム周辺整備事業	4,500,000
奥三面遺跡群資料の公開・活用事業	3,815,000

問 企画戦略課企画政策室（市役所本庁内3811）

パブリックコメント 皆さんのご意見をお聞かせください

記事ID 0055040

下記の計画について意見を募集します。意見書の提出方法など詳しくは、市ホームページをご覧ください。なるかお問い合わせください。

案件名	村上市農林水産物地産地消促進計画（案）
募集期間	6月7日(火)～27日(月)
概要	農林水産物のPR強化やブランド化、6次産業化の推進などにより、農林水産物を起点とした地域活性化を推進するために策定する計画です。
計画書の閲覧・意見書の入手方法	観光課観光交流室または各支所産業建設課産業観光室 ※市ホームページでも閲覧・ダウンロードできます

問 観光課観光交流室（市役所本庁内3711）



子育て支援センターからのお知らせ

記事ID 0052919

育児講座 「離乳食ワンポイントアドバイス」

時 6月21日(火) 午後2時～3時

場 荒川子育て支援センター

講 社会福祉法人颯和会栄養士

対 1歳未満の未就園児の保護者

定 5組（先着順） 料 無料

問 申 6月6日(月)～14日(火)の間に荒川子育て支援センター（☎62-2456）



運動会ごっこ ～玉入れ、かけっこなど～

時 6月28日(火) 午前10時～11時30分

場 朝日総合体育館

対 未就園児とその保護者

定 70組（先着順） 料 無料

他 動きやすい服装でお出で下さい。

問 申 6月6日(月)～21日(火)の間に山辺里子育て支援センター（☎53-1577）



補聴器購入費の一部を助成しています

記事ID 0036402

難聴によるうつ病、認知症などの予防を目的として、補聴器購入費の一部を助成しています。

対 身体障害者手帳の交付対象外で、次の要件を全て満たす人

・市内に住所がある18歳以上の人

・両耳の聴力レベルが40デシベル以上の人

※医師が装用の必要を認めた場合は、40デシベル未満も対象となります

助成額

世帯区分	算定基礎となる額	助成上限額
生活保護世帯・市民税非課税世帯	購入金額	5万円
市民税課税世帯	購入金額の2分の1	2万5千円

※交付を受けてから5年を経過するまでは、再申請はできません

他 申請方法などについては、市ホームページをご覧ください。

問 申 福祉課福祉政策室

（市役所本庁内2321、2322）

